

【レジメン名】

デュルバルマブ療法

【適応疾患】

非小細胞肺癌 ☒ 進行・再発 ☐ 術前補助 ☐ 術後補助

【インターバル日数】

1 コース 14 日

【使用抗癌剤】

一般名/ 略号	投与法	投与時間	投与日
デュルバルマブ/Durvalumab 10mg/kg	点滴静注	1 時間	day1

【注射スケジュール】

薬品名	投与量	目的	手技	点滴時間	d1	d2	...	d14	d1
生理食塩液	50mL	ルート確保	点滴静注	15 分	↓				↓
生理食塩液 イミフィンジ	100mL 10mg/kg	抗癌剤	点滴静注	1 時間	↓				↓
生理食塩液	50mL	ルートフラッシュ	点滴静注	15 分	↓				↓

【副作用】

《主な副作用》

発疹(15.4%)、甲状腺機能低下症(10.5%)、下痢(9.7%)、間質性肺疾患(9.7%)

●重大な副作用

間質性肺疾患(放射線性肺臓炎を含む)(13.9%)、大腸炎(0.4%)、重度の下痢(0.4%)、甲状腺機能低下症(10.5%)、甲状腺機能亢進症(6.9%)、副腎機能不全(0.2%)、下垂体機能低下症(頻度不明)、1 型糖尿病(0.2%)、肝機能障害(3.6%)、肝炎(0.6%)、尿細管間質性腎炎(頻度不明)、糸球体腎炎(0.2%)、筋炎(頻度不明)、横紋筋融解症(頻度不明)、Infusion reaction(1.7%)

●特に注意を要する副作用

間質性肺疾患(放射線性肺臓炎を含む)、大腸炎・重度の下痢、内分泌障害(甲状腺機能障害、副腎機能障害、下垂体機能障害)、1 型糖尿病、肝機能障害、腎障害(間質性腎炎等)、筋炎・横紋筋融解症、Infusion reaction